



2026年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年12月9日

上場会社名 株式会社きんえい 上場取引所 東
コード番号 9636 URL <https://corporate.kin-ei.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 作田 憲彦
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 森本 清士 (TEL) 06(6632)4553
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年1月期第3四半期の業績 (2025年2月1日～2025年10月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期第3四半期	2,930	8.3	285	18.4	293	17.5	202	22.4
2025年1月期第3四半期	2,707	0.0	240	4.0	249	8.5	165	9.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年1月期第3四半期	72.71	—
2025年1月期第3四半期	59.42	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年1月期第3四半期	5,919	2,757	46.6
2025年1月期	5,923	2,580	43.6

(参考) 自己資本 2026年1月期第3四半期 2,757百万円 2025年1月期 2,580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年1月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 10.00
2026年1月期	—	0.00	—	—	—
2026年1月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年1月期の業績予想 (2025年2月1日～2026年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,660	2.5	230	△18.6	240	△17.9	155	0.3	55.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年1月期3Q	2,821,000株	2025年1月期	2,821,000株
② 期末自己株式数	2026年1月期3Q	33,004株	2025年1月期	32,939株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年1月期3Q	2,788,009株	2025年1月期3Q	2,788,098株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

文中における将来に関する事項は、当第3四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策による影響が一部にみられるものの、雇用・所得環境の改善や個人消費、設備投資に持ち直しの動きがみられるなど景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響には引き続き注意が必要であり、海外における政情不安などによる海外景気の下振れリスクが懸念され、先行きは不透明な状況で推移しております。

この間、当社におきましては、事業全般に亘って顧客満足度のより高いサービスの提供に努めるとともに、部門別業績管理のさらなる徹底を図りましたところ、当第3四半期累計期間の売上高合計は2,930,546千円（前年同期比8.3%増）となり、費用面におきましても、諸経費全般に亘って銳意削減に努めました結果、営業利益は285,038千円（前年同期比18.4%増）、経常利益は293,472千円（前年同期比17.5%増）、四半期純利益は202,726千円（前年同期比22.4%増）となりました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

シネマ・アミューズメント事業部門におきましては、「あべのアプロシネマ」において、“『劇場版「鬼滅の刃」無限城編』第一章 猿窓座再来” “国宝” “名探偵コナン 隻眼の残像(せきがんのフラッシュバック)” “劇場版『チェンソーマン レゼ篇』” “ヒプノシスマイク -Division Rap Battle-” “8番出口” “劇場版『TOKYO MER～走る緊急救命室～南海ミッション』”などの作品を上映して観客誘致に努めました。また、周辺商業施設と連携したタイアップイベントを積極的に開催し、販売促進を図るとともに、スクリーン1の天井照明LED化、空調設備の整備・保全工事のほか、従業員に対する接遇研修を実施するなど、より快適にご鑑賞いただけるように努めました。また、娯楽場事業におきましては、「あべのアプロシネマ」と一体となった集客を一層推進いたしました結果、収入合計は1,371,559千円（前年同期比16.4%増）、営業原価控除後のセグメント利益は198,846千円（前年同期比50.6%増）となりました。

不動産事業部門におきましては、計画的な設備等更新に取り組み、より安全・快適なビルづくりを推進するとともに、賃貸収入の確保に向けて空室部分への後継テナントの誘致や賃貸借契約更新時等の賃料改定に注力するなど賃貸収入の確保に努めました結果、収入合計は1,558,987千円（前年同期比2.0%増）となり、営業原価控除後のセグメント利益は348,904千円（前年同期比4.1%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末における総資産は、有形固定資産の減少等により前期末に比較して3,697千円減少し、5,919,430千円となりました。負債は、1年内返済予定の長期借入金の減少等により、前期末に比較して181,015千円減少し、3,161,430千円となりました。純資産は、四半期純利益など利益剰余金の増加額が配当金の支払い等による減少額を上回ったため、前期末に比較して177,317千円増加し、2,757,999千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年1月期の業績予想につきましては、2025年9月11日に「2026年1月期 第2四半期（中間期）決算短信（非連結）」にて公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	87,080	84,600
売掛金及び契約資産	112,028	122,015
商品	4,411	5,065
短期貸付金	644,881	662,409
その他	60,413	107,389
貸倒引当金	△730	—
流动資産合計	908,084	981,479
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,754,692	2,676,133
機械及び装置（純額）	100,978	91,669
工具、器具及び備品（純額）	72,989	62,228
土地	1,123,748	1,123,748
建設仮勘定	—	13,312
有形固定資産合計	4,052,408	3,967,091
無形固定資産	1,735	2,916
投資その他の資産		
差入保証金	890,112	899,138
その他	70,788	68,803
投資その他の資産合計	960,900	967,942
固定資産合計	5,015,043	4,937,950
資産合計	5,923,128	5,919,430
負債の部		
流动負債		
買掛金	128,981	89,763
短期借入金	250,000	325,000
1年内返済予定の長期借入金	243,750	10,000
未払法人税等	54,312	59,161
賞与引当金	10,700	22,600
資産除去債務	—	41,498
その他	596,823	601,442
流動負債合計	1,284,567	1,149,466
固定負債		
長期借入金	—	5,000
退職給付引当金	70,568	67,137
受入保証金	1,580,404	1,585,143
資産除去債務	382,901	346,342
その他	24,004	8,340
固定負債合計	2,057,878	2,011,963
負債合計	3,342,446	3,161,430

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金	24,155	24,155
利益剰余金	2,091,907	2,266,752
自己株式	△112,637	△112,899
株主資本合計	2,567,625	2,742,208
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,056	15,790
評価・換算差額等合計	13,056	15,790
純資産合計	2,580,682	2,757,999
負債純資産合計	5,923,128	5,919,430

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
売上高	2,707,134	2,930,546
営業原価	2,239,786	2,382,794
営業総利益	467,348	547,751
一般管理費	226,543	262,713
営業利益	240,805	285,038
営業外収益		
受取利息	2,704	4,521
受取配当金	260	511
違約金収入	759	4,964
負担金収入	7,100	—
雑収入	2,266	2,145
営業外収益合計	13,091	12,143
営業外費用		
支払利息	4,119	3,698
雑支出	13	11
営業外費用合計	4,133	3,709
経常利益	249,763	293,472
特別損失		
固定資産除却損	6,340	8,941
特別損失合計	6,340	8,941
税引前四半期純利益	243,423	284,531
法人税、住民税及び事業税	85,422	98,674
法人税等調整額	△7,667	△16,869
法人税等合計	77,755	81,805
四半期純利益	165,667	202,726

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「所得税法等の一部を改正する法律」（令和7年法律第13号）が2025年3月31日に公布されました。これに伴い、当社では、第131期（2027年2月1日から2028年1月31日まで）以降に解消が予定される一時差異に対応する法定実効税率を30.6%から31.5%に変更し、計算しております。

なお、これによる四半期財務諸表への影響は軽微であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(2024年2月1日から2024年10月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
劇場収入	1,055,014	—	1,055,014	—	1,055,014
ビル共益費等収入	—	297,835	297,835	—	297,835
娯楽場及びその他事業収入	123,750	20,568	144,318	—	144,318
顧客との契約から生じる収益	1,178,764	318,404	1,497,168	—	1,497,168
その他の収益	—	1,209,966	1,209,966	—	1,209,966
外部顧客への売上高	1,178,764	1,528,370	2,707,134	—	2,707,134
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,178,764	1,528,370	2,707,134	—	2,707,134
セグメント利益	132,061	335,286	467,348	△226,543	240,805

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費（全社費用）であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(2025年2月1日から2025年10月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
劇場収入	1,240,714	—	1,240,714	—	1,240,714
ビル共益費等収入	—	302,178	302,178	—	302,178
娯楽場及びその他事業収入	130,845	19,871	150,716	—	150,716
顧客との契約から生じる収益	1,371,559	322,049	1,693,608	—	1,693,608
その他の収益	—	1,236,937	1,236,937	—	1,236,937
外部顧客への売上高	1,371,559	1,558,987	2,930,546	—	2,930,546
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,371,559	1,558,987	2,930,546	—	2,930,546
セグメント利益	198,846	348,904	547,751	△262,713	285,038

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費（全社費用）であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
減価償却費	219,850千円	217,331千円